



若竹通信

第65号



平成29年3月24日発行
徳島県立新野高等学校

1号館前庭の蜂須賀桜の花がほころびはじめた3月1日、第68回となる卒業証書授与式を挙りました。

卒業式会場の体育館は、1月末に耐震工事が竣工したばかりで、真新しいドアをはじめ天井は全てLED照明に変更するなど明るく綺麗な会場となっています。伝統となっている会場の装飾は、生徒が栽培したCymbidiumの鉢物やViolaのプランターをふんだんに用いた絢爛豪華な会場に仕立て、卒業生も美しい会場に負けない大変立派な態度で臨み素敵な式となりました。

今年度の最後となります本号は、3学期の取り組みや話題になったことを掲載していますが、改めて今年度の若竹通信を読み返すと、本校が何事に対しても一生懸命に頑張り、華々しい成果を上げていることを再認識できます。この一生懸命の「新高魂」は、平成30年度開校となります阿南光高校でも受け継いでいきたいと思ひます。そのために、新校舎だけでなく「新野キャンパス」も充実させていきたいと強く思ひ願っています。

第68回

卒業証書授与式

3月1日

3年間の高校生活を終えた68名の卒業生たちが卒業の日を迎えました。学校長から卒業証書を授与され、慣れ親しんだ学舎を後にしました。卒業生のみなさんの将来が光り輝き、幸せに満ちあふれますよう、心からお祈りしております。



生徒会役員



会長 奈尾隆都 (2年次)	書記 小川秀人 (1年次)
副会長 助道 要 (2年次)	会計 森 亮太 (2年次)
井坂純司 (2年次)	岡田彩沙妃 (2年次)
書記 久田萌々美 (2年次)	黒田祐生 (2年次)
泉 日菜 (1年次)	青木杏璃 (1年次)
生塚修斗 (1年次)	よろしくお祈りします。

球技大会

体育館の耐震工事のため、延期されていた球技大会が行われました。インフルエンザの流行もあり、実施が心配されましたが、生徒たちは元気よくバレーボール、卓球の各競技に参加しました。3年生との最後の球技大会ということで、大いに盛り上がり、最後は教員チームとの交流戦が行われ、残り少ない高校生活を過ごしました。



家庭クラブ活動

① バレンタインケーキ講習会

ガトーショコラを作りました。甘い香りが校舎に漂いました。



② アームカバーの作製

調理実習時に使用するアームカバーを家庭クラブ役員で作りました。これで作業時に袖が下がってきたり、セーターの毛や埃が料理に入るのを防ぐことができます。

③ ホワイトセロリポップ作り

「新野グリーンプロジェクト」で連携している那賀ベジタブルさんからホワイトセロリのレシピの考案とポップ作りを依頼され、ホワイトセロリの栄養と香りと歯ごたえを生かしたレシピを考え、店頭で目にとまりやすいように考えてポップを作成しました。



ハイゼックス炊飯体験会

2月23日放課後、各クラスの防災委員と生徒会役員からなる「防災クラブ」の活動として、ハイゼックスによる炊飯体験会を行いました。災害時により近い状況を想定し、厚紙で代用した漏斗を使い無洗米をハイゼックス袋に入れ、実際に戸外で火をおこして炊飯を行いました。

炊きあがり待約30分の間、ドライカレーや五目ご飯など4種類の味のアルファ米の試食も行いました。

防災クラブ委員以外の参加希望生徒も大勢加わり、心配した炊き上がりも上手くいき、美味しく頂きました。

今回の体験を通して、学校や地域のリーダーとして災害ボランティア活動に自主的に取り組む意識や自覚を高めてほしいものです。



高等学校・高校生によるエコ活動コンテスト
第5回 eco-1グランプリ ～環境大臣賞～

高校生が学校単位で取り組んでいる優れた「エコ活動」を表彰する「第5回エコワングランプリ」（イオンワンパーセントクラブ主催、毎日新聞社共催、内閣府など後援）の最終審査・表彰式が12月10日、毎日ホール（東京）で開催されました。

今回は、全国114校から121件の応募があり、最終審査には14校が出席しました。

私たちの発表は、地域の絆を深めるため、朝のあいさつ運動や清掃をはじめ、イシマササユリの保護増殖活動や、地球温暖化防止に向けた活動を展開しています。また、植物廃材となっている刈草をリノベーションした土壌改良材「もったいない2号」の開発にも成功し、高校生の組織として全国初の登録許可を受け、夏場の緑のカーテンとして活用するために、この「もったいない2号」を県内外に提供しています。さらに、地元をフィールドにして、パッションフルーツを使った地域創生と地域活性化に向けた取り組みを発表しました。環境省の方々からも反響があり、「今後も頑張ってください」という声をいただきました。

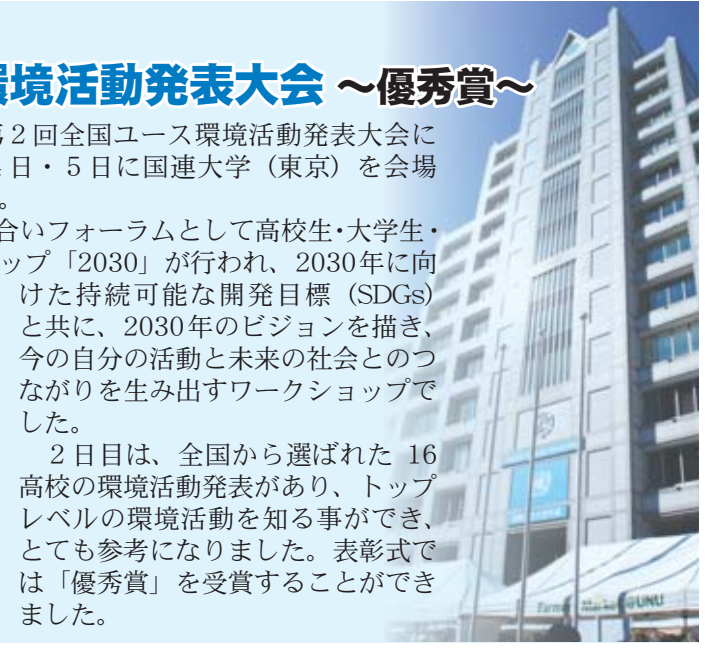


第2回 全国ユース環境活動発表大会 ～優秀賞～

昨年に引き続き、第2回全国ユース環境活動発表大会に出場しました。2月4日・5日に国連大学（東京）を会場として開催されました。

1日目は、ESD学び合いフォーラムとして高校生・大学生・社会人合同ワークショップ「2030」が行われ、2030年に向けた持続可能な開発目標（SDGs）と共に、2030年のビジョンを描き、今の自分の活動と未来の社会とのつながりを生み出すワークショップでした。

2日目は、全国から選ばれた16高校の環境活動発表があり、トップレベルの環境活動を知る事ができ、とても参考になりました。表彰式では「優秀賞」を受賞することができました。



低炭素杯2017 ～ニトリ最優秀夢・未来賞～

低炭素杯2017のファイナリストに選ばれ、2月16日に日経ホール（東京）で環境活動のプレゼンテーションを行いました。応募総数約1000件の中から選ばれた温暖化防止に取り組むファイナリスト（市民部門・自治体部門・学校部門・企業部門）の26団体による4分間のステージ発表で成果を競い合いました。緑のリサイクル・ソーシャル・エコ・プロジェクトチームは、緑のリサイクルモデル・「刈草堆肥」でストップ温暖化について発表しました。

表彰式では、「ニトリ最優秀夢・未来賞」を受賞しました。

ニトリのホームページで環境活動が紹介されます。



6次産業化プロデュース事業

県南部四校（新野高校、富岡東高校、阿南工業高校、小松島西勝浦校）の生徒たちが集い交流会をとおして情報交換や意見交換を行い、連携し、徳島県のブランドとなる6次産業化商品を作り出す事業を行っています。新野高校では、地元のパン工房ゆいまあーるさんとのコラボで県特産「ゆこう」ジャムを使ってオリジナルパンを共同開発しました。試食していただいた皆さんから「美味しい」の声をいただきました。



3/18 防災用隔壁講習会

体育館の耐震改修工事に伴って、防災用隔壁が設置されました。災害時に避難所で利用するための1区画6畳程度の隔壁で、生徒、教員が参加して隔壁を組み立てました。不慣れなこともあり、最初は戸惑いましたが、40分ほどで完成し、日頃からの備えが大切だと感じました。



コサージュづくり

2年次生の「総合実習」選択者が卒業生のために、コサージュづくりに取り組みました。卒業式当日、卒業生の胸元に華やかなコサージュが飾られます。



中・高生による 人権交流集会

12月18日（日）徳島県教育会館にて「つなげよう 未来へ続く 思いやりのボタン」のキャッチフレーズのもと開催され、すだちの会から6名が参加しました。午前中は、う～みさんによる「あなたに会えてよかった」と題した人権コンサートがありました。途中、すだちの会のメンバーも勇気を出して舞台上上がり、「翼をください」をたくさんの仲間と一緒に歌いました。う～みさんは自らの経験から「命の大切さ」「命は繋がっている」ことを伝えてくださいました。午後からの南部ブロックが担当した第3分科会では、小松島高校放送演劇部の皆さんによる人権劇を鑑賞し、登場人物の心理を探ることで「いじめについて」「自分たちに何ができるのか」を意見交換し、仲間と思いを共有しました。



職業別体験授業 1月23日

1、2年次生対象の職業別体験授業が行われました。建築・自動車・電子・IT・公務員・美容・メイク・調理・保育・介護福祉・看護・農業など19の各専門分野から講師を招き、興味のある2分野の授業を体験しました。

